

# 土砂防 だより



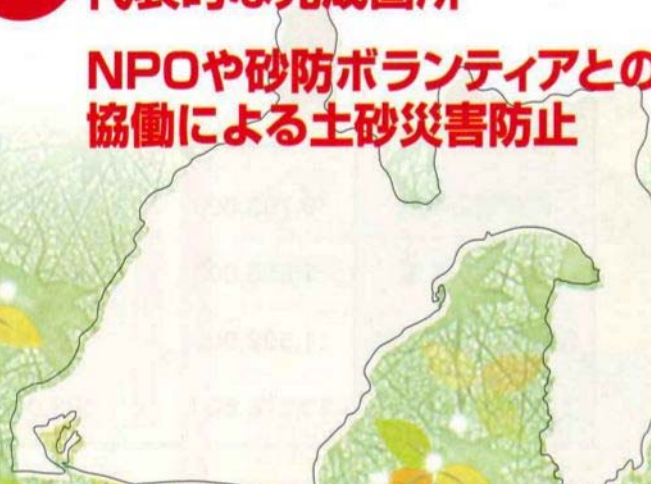
錦秋(安倍峠)

- 土砂防関係事業の推進を国へ要望 ..... 2
- 静岡県の9月補正予算可決
- 土砂災害防止法(基礎調査の実施) ..... 3
- NPOや砂防ボランティアとの協働による土砂災害防止** ..... 4
- 平成12年度砂防関係事業の代表的な完成箇所** ..... 6
- わがまちの砂防(松崎町・御殿場市・藤枝市・掛川市) ..... 10
- 砂防関係の主な行事(H13.10月~12月) ..... 12

**特集**

**平成12年度砂防関係事業の代表的な完成箇所**

**NPOや砂防ボランティアとの協働による土砂災害防止**



全国治水砂防協会静岡県支部

平成14年度

# 砂防関係事業の推進を国へ要望

砂防協会静岡県支部では、平成13年8月24日、富士山火山防災対策の推進、直轄砂防事業の推進、補助砂防関係事業の一層の推進を図るため、本県選出の国会議員をはじめ、国土交通大臣、国土交通省の幹部職員などに対し、来年度予算の確保につき格別の配慮を賜るよう要望書を提出しました。

## ●国の要望書

国土交通大臣  
副 千景 様

平成14年度  
国の施策・制度・予算に関する要望書

国土交通省砂防課長 御中  
国土交通省砂防課 御中

1. 国土交通大臣の御挨拶

国土交通大臣の御挨拶は、国土交通省の業務の概要、国土交通省の役割、国土交通省の施策の概要、国土交通省の予算の概要、国土交通省の今後の展望などについて述べられています。

2. 直轄砂防事業の推進

直轄砂防事業の推進は、国土交通省の業務の概要、国土交通省の役割、国土交通省の施策の概要、国土交通省の予算の概要、国土交通省の今後の展望などについて述べられています。

3. 補助砂防関係事業の推進

補助砂防関係事業の推進は、国土交通省の業務の概要、国土交通省の役割、国土交通省の施策の概要、国土交通省の予算の概要、国土交通省の今後の展望などについて述べられています。

～県の9月補正予算可決～

# 急傾斜地崩壊対策事業に2億5千万円！

県の平成13年度9月補正予算が9月定例県議会において可決されました。一般会計の実質予算ベースの補正規模は、140億4,000万円と昨年度の222億7,000万円に比べ80億円余り少なく、2年連続の大幅な減となっています。

砂防関係予算は、3億800万円の増額補正があり、9月現計で136億8,400万円余となりました。補正の内訳は国庫補助事業で5,800万円（当初予算の過不足額の補正）、県単独事業（生活環境整備事業）で2億5,000万円です。県単独事業は、特に地震対策上緊急に整備が必要な山がけ崩れ対策としての急傾斜地崩壊対策事業に重点配分しました。

(単位:千円)

区 分	平成13年度 予算			H12最終予算 (B)	A/B (%)
	当初予算	9月補正額	合計 (A)		
行政費	3,826	0	3,826	4,235	90.3
国庫補助事業	9,793,000	58,000	9,851,000	12,225,233	80.6
県単独事業	1,988,000	250,000	2,238,000	2,536,439	88.2
国直轄事業負担金	1,592,000	0	1,592,000	2,281,537	69.8
合 計	13,376,826	308,000	13,684,826	17,047,444	80.3

# 大韓民国の砂防視察と日韓文化交流会出席

砂防協会県支部は、平成13年9月9日～11日に大韓民国の砂防事業視察を実施しました。この視察は東海4県の砂防協会が協働して実施したもので38名が参加し、本県からは小原佐久間町長を団長として9名が参加しました。大韓民国ではオンドルの燃料として森林が伐採され山地が荒廃し、約100年前の1907年から砂防事業が実施されており、ソウル市は計画的な植林により世界有数の緑の多い都市になっています。今回の視察では1998年7月の集中豪雨により斜面崩壊や土石流が多発したソウル特別市近郊の京畿道楊州長興面地区を視察しましたが、復旧工法は韓国特有の花崗岩を用いた巨石積護岸等が多用されていました。

また、9月10日の午後は、ソウル世宗文化会館で開催された日韓文化交流会（韓日職能人大會）に出席し、日韓の友好を深めました。（交流会には金大中大統領をはじめ約4,000名、日本からは約2,300名が出席）



東海4県砂防視察団一行  
（ソウル市郊外京畿道楊州長興面日迎りの斜面崩壊箇所）

- 参加市町村…佐久間町（団長）・相良町・榛原町  
中川根町・本川根町・春野町・龍山村  
引佐町・砂防室（事務局）

## 土砂災害防止法 ～基礎調査の実施～

今年4月に施行された土砂災害防止法に基づき基礎調査の進め方について、庁内の関連機関等と調整を終了し、下記のとおり実施します。

### ●平成13年度の実施方針（案）

フロー図（青色）

本年度は基礎調査の初年度であるため、開発が活発で土砂災害の多発している市町村からモデル調査箇所を抽出して指定までの調査を行い、今後の調査・指定方針について専門家等による委員会を通じてマニュアルを作っていくこととしています。

### ●基礎調査の実施（H13～H17）

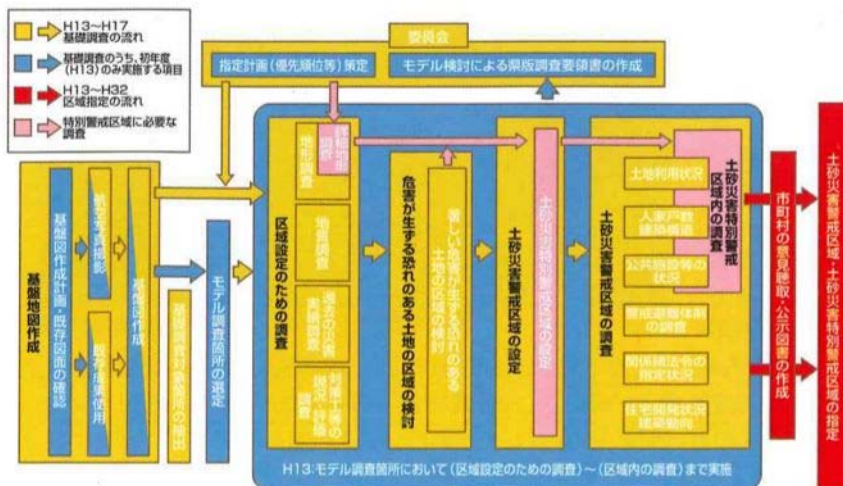
フロー図（黄色）

基礎調査では指定に必要な各調査を実施し、本年度を含めおおむね5年間で対象となる約15,000箇所全ての調査を実施します。

### ●区域の指定（H14～H32）

フロー図（赤色）

基礎調査の完了箇所より、市町村から意見聴取の後、随時指定を行います。なお、土砂災害特別警戒区域については、区域内での開発・建築等が制限されるため、より詳細に地形等を調査します（ピンク色）。来年度以降おおむね20年で対象箇所の指定の完了を目指します。



### 土砂災害防止法の対象調査箇所数

土砂災害危険箇所 ・土石流 ・地すべり ・がけ崩れ	土砂災害の恐れのある人家	土砂災害の恐れのある地域で生活している人口
------------------------------------	--------------	-----------------------

約 15,000 箇所      約 111,000 戸      約 31万人

（沼津市三島市を合わせた人口とほぼ同数）

県民の12人に1人が土砂災害の恐れのある地域で生活しています



特集

## NPOや砂防ボランティアとの協働による

# 土砂災害防止

### ◆静岡市・清水市都市山麓グリーンベルト整備事業における協働の取り組み

土木部では戦略的施策展開として「協働による快適で安全な県土づくり」を推進しています。砂防室では都市山麓グリーンベルト整備事業の清水市大内地区をモデルに、地元住民やボランティアと協働して土砂災害に強い砂防樹林帯の育成を行っております。

樹林帯の整備と管理は地元住民を中心としたボランティアと行政との協働で行い、土砂災害から自分を守る防災意識を育てることを目指しております。

樹林帯の整備については、植樹計画から地元住民やボランティア自身で考えることになり、ボランティアと現地調査をして整備の考え方をとりまとめました。今後は植樹や筍狩りなどの作業やイベントを行う予定です。

今年度は、下記のスケジュールで協働活動を行っています。皆さんの参加をお待ちしております。

#### ●平成13年度グリーンベルト協働育成事業スケジュール表

実施日	活動項目	活動内容
4月27日	現地調査	活動エリアの検討
7月10日	地域懇談会	県・市・地域住民・ボランティア団体等の懇談会
7月26日	現地調査	ボランティアによる活動のための事前調査
9月16日	ワークショップ(第1回)	森づくりグループ、森林組合、地元住民による現地調査とワークショップの開催、樹林帯の整備計画案の検討
10月20日	ワークショップ(第2回)	樹林帯の整備計画案の取りまとめ
11月	竹林伐採作業	ボランティアを募集、竹林の伐採



協働による現地調査

### 都市山麓グリーンベルト整備事業とは…

土砂災害危険箇所が集中している都市山麓を対象に平成8年度から実施されており、現在、全国15地区で実施されています。本県では静岡市・清水市にまたがる北部市街地山麓斜面の東西12.5km、南北5km、面積65km<sup>2</sup>の区域を対象にしています。事業内容は土砂災害防止施設を重点的に整備するとともに、山麓斜面で砂防植樹帯(グリーンベルト)を形成することで、斜面の安定を高め、土砂災害を抑制するとともに、緑豊かな自然環境を保全・整備するものです。

清水市大内地区は東西1.5km、南北1.6km、面積1.1km<sup>2</sup>の広さを持ち、その中に8土石流危険渓流と5急傾斜地崩壊危険箇所があります。当地区の山麓斜面は従来みかん畑として利活用され、管理がなされてきましたが、30年ほど前から放棄園が増えて、孟宗竹が異常に進出するとともに、一部では草化も進むなど、土砂災害に対する抵抗力が低い状態となったため、モデル地区として土砂災害に強い樹林帯の育成整備を行っています。



グリーンベルト整備対象地区全景

## ◆ボランティアとの協働の活動事例

桃 沢 川 (駿東郡 長泉町)	平成7～12年度に実施した地方特定砂防環境整備事業の計画及び施工にあたり、「桃沢川から愛鷹山を考える会(MAC)」と協働し、計画策定から維持管理までを行っています。
木和田川 (志太郡 岡部町)	平成8～11年度に実施した砂防学習ゾーンモデル事業の計画及び施工にあたり、「横添ふるさと会」と協働し、計画策定から維持管理までを行っています。



MACが実施した桃沢川自然観察会

## ◆協働のためのシステムづくり

平成13年度は下記の4箇所、砂防施設等の計画策定から維持管理について地域住民に参画してもらい、協働のシステムづくりを行っています。

	箇所名	市町村	事業名	土木事務所	平成13年度実施内容
1	藤瀬川	天竜市	砂 防	天 竜	協働による現地調査、工法検討会 意見交換会
2	柳 沢	岡部町	〃	島 田	〃
3	岡出山	藤枝市	急傾斜	島 田	〃
4	宮 田	浜岡町	〃	袋 井	〃



柳沢協働意見交換会

## ●平成13年度 ●土砂災害の発生状況と対策

全国では平成13年9月26日までに38都道府県で391件(土石流32件、地すべり80件、がけ崩れ279件)の土砂災害が発生しています。(死者4名)

県内は、8月の台風11号、9月の台風15号等により20件の土砂災害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

このうち、今後の降雨により被害の拡大のおそれがあり、早急に防止対策を必要とする6箇所に対しては、災害関連緊急事業で、早急な対応を図ります。



「地八」地すべりの被災状況

### ①土砂災害の発生件数

原 因	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13
土石流	2	9	0	4	0
地すべり	4	7	2	1	7
がけ崩れ	12	125	10	16	13
計	18	141	12	21	20

(平成13年10月8日現在)

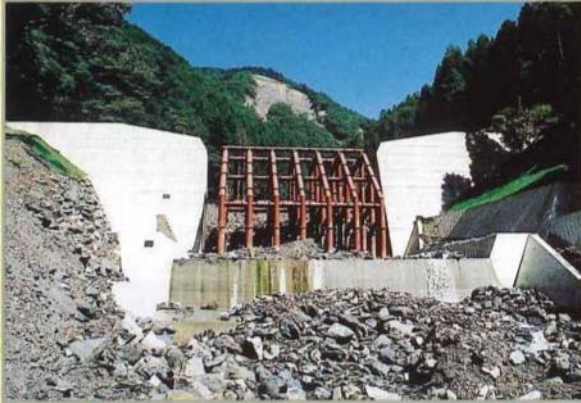
### ②平成13年度 災害関連緊急事業<実施状況>

区 分	箇所数	事業費(百万円)	箇所名	市町村名	事業内容	採択日	被災日
地すべり	3	498	口坂本	静岡市	集水井工	H13. 9.28	H13.8.22 台風11号
		564	金川開拓	春野町	杭工、集水井工	H13. 9.28	
		408	地 八	佐久間町	杭工、集水井工	H13. 9.28	
がけ崩れ	3	89.7	滝沢浜井場	藤枝市	擁壁工、法粹工	H13. 9.28	H13.9.11 台風15号
		25.0	中 村	金谷町	擁壁工、法粹工	H13.10.18	
		39.2	川原町	岡部町	擁壁工、法粹工	H13.10.18	
計	6	1,623.9	—	—	—	—	—

特集

# 平成12年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業



### ●坂本川4号砂防堰堤

事業名/災害関連緊急砂防事業 特定緊急砂防事業  
箇所/静岡市口坂本地先  
期間/平成10~13年(完成:平成13年8月)  
事業費/335百万円  
概要/鋼製格子型スリット砂防堰堤  
H=14.5m, L=56.5m  
事業効果/平成10年4月の豪雨により発生した不安定土砂が下流に甚大な被害を及ぼす恐れがあったため、緊急的に砂防堰堤工を施工し、人家26戸や口坂本温泉、県道の安全が図られた。



### ●沼津大沢川2号砂防堰堤

事業名/火山砂防事業  
箇所/沼津市石川地先  
期間/平成10~12年(完成:平成13年3月)  
事業費/65百万円  
概要/コンクリートスリット砂防堰堤  
H=9m, L=46.5m  
事業効果/土石流による災害を防ぐため砂防堰堤工を施工し、人家140戸や災害弱者施設である病院、東名高速道路・東海道新幹線の安全が図られた。



### ●滝沢川砂防堰堤

事業名/火山砂防事業  
箇所/駿東郡小山町小山地先  
期間/平成10~12年(完成:平成13年3月)  
事業費/104百万円  
概要/鋼製流木止め  
H=7m, L=45.5m  
事業効果/流木が土砂と共に流出し、下流にある橋梁等に詰まることにより発生する土砂災害を防ぐため流木捕捉工を施工し、人家53戸やJR御殿場線・県道の安全が図られた。



### ●良洗沢砂防堰堤

事業名/通常砂防事業  
箇所/引佐郡引佐町金指地先  
期間/平成11~13年(完成:平成13年5月)  
事業費/102百万円  
概要/コンクリート砂防堰堤  
H=7.5m, L=42m  
事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を施工し、災害弱者施設である引佐赤十字病院や人家6戸の安全が図られた。

## 地すべり対策事業



### ●「上大沢」地すべり

事業名/災害関連緊急地すべり対策事業  
箇所/藤枝市西方地先  
期間/平成11～12年(完成:平成12年12月)  
事業費/1,089百万円  
概要/法枠工 A=4,200㎡  
アンカー工 L=16,607m  
横ポーリング工 L=4,250m  
事業効果/平成11年7月の豪雨により地すべりが発生したため、早急な対策工を実施し、人家25戸や市道の安全が図られた。

## 急傾斜地崩壊対策事業



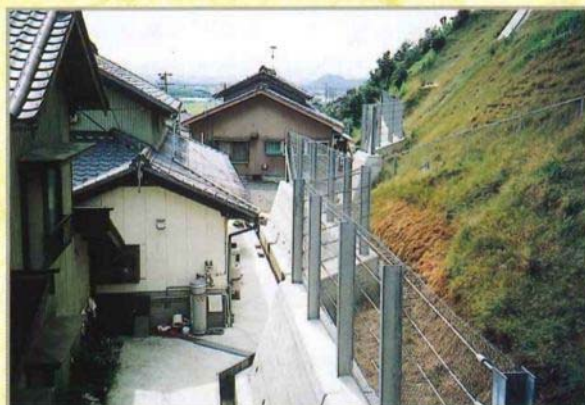
### ●「山ヶ谷」急傾斜

事業名/災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業  
箇所/小笠郡浜岡町上朝比奈地内  
期間/平成12年(完成:平成13年3月)  
事業費/60百万円  
概要/張りコンクリート擁壁工 L=62.5m  
法枠工 A=687㎡  
事業効果/平成12年6月の梅雨前線豪雨により、がけ崩れ災害が発生したため、早急に対策工を実施し、人家5戸の安全が図られた。



### ●「牛妻向山上」急傾斜

事業名/急傾斜地崩壊対策事業  
箇所/静岡市牛妻地内  
期間/平成8～12年(完成:平成12年12月)  
事業費/215百万円  
概要/張りコンクリート擁壁工 L=193.2m  
事業効果/対策工事の実施により区域内に連担する人家45戸の安全が図られた。



### ●「三沢宮下」急傾斜

事業名/急傾斜地崩壊対策事業  
箇所/小笠郡大東町地内  
期間/平成10～12年(完成:平成13年2月)  
事業費/142.3百万円  
概要/重力式擁壁工 L=195.1m  
事業効果/対策工事の実施により区域内に連担する人家11戸の安全が図られた。

## 土砂災害防止のためのソフト対策のあり方についての座談会開催

7月18日、(財)砂防・地すべり技術センターにおいて、国土交通省国土技術総合政策研究所、全国代表5道県及び代表5市町村等が集まり、土砂災害防止のためのソフト対策のあり方について座談会が開催されました。本県からは武田県砂防統括監、佐藤静岡市河川課長が出席し、土砂災害対応に関する防災システムの現状と課題、今後の防災システムのあり方等について事例の紹介と活発な議論が行われました。本県からは、伊豆半島の大峠レーダ雨量計を活用した市町村への短時間降雨予測、土砂災害危険度情報等の配信、土砂災害情報相互通報システムの整備状況等を紹介しました。

## 東海4県土砂災害防止法担当者会議開催

7月13日、岐阜市において、東海4県の土砂災害防止法担当者17名が集まり、土砂災害防止法の施行・運用に係わる諸課題等について各県の情報交換及び討議を行いました。特に、基礎調査における具体的手法等について熱心な議論がなされ、同法への取り組みの参考になりました。

## 「静岡県砂防事業推進協議会」発足

21世紀における静岡県の砂防行政を国土交通省と県で協働して円滑に推進することを目的とした「静岡県砂防事業推進協議会」が平成13年9月18日に発足しました。協議会では、国土交通省中部地方整備局地域河川課長・河川部建設専門官、静岡河川・沼津・富士砂防各工事事務所長、県土木部砂防統括監を委員とする運営要領が承認されるとともに、来賓として出席していただいた国土交通省三上砂防計画課長補佐を交えて、土砂災害防止法に伴う国と県との連携など今後の県の砂防事業の推進について有意義な協議が行われました。今後も、同協議会を毎年2回程度開催し事業推進を図ることとしています。



## ～小学生を対象とした～土砂災害出前講座スタート

10月4日、静岡市立松野小学校4年生を対象に土砂災害防止に関心をもってもらえるよう、県砂防室が静岡市、市教委の協力を得て「土砂災害出前講座」を行いました。

これは、本年度、静岡市内の2小学校でモデル的に行うものです。当日は、3・4時間目の授業を利用して土砂災害の実態、前兆現象等の説明や学校付近にある急傾斜地崩壊対策工事現場の見学し、対策工事によって人命が保全されていることなどを説明しました。生徒からも「なぜ、土砂災害がおきるの？」などの質問がでるなど、時間が不足するほど有意義な出前講座になりました。平成14年度以降は、土砂災害危険箇所が多い地区の小中学校を中心に出前講座の輪を広げて行く計画です。





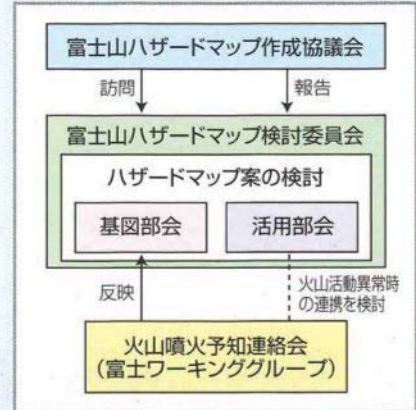
## 富士山ハザードマップ検討委員会 第1回活用部会・第1回基図部会が開催される

富士山ハザードマップ検討委員会の第1回活用部会が8月22日に、第1回基図部会が9月10日に東京都内で開催されました。

基図部会では、①過去の噴火災害実績の既存資料の吟味、調査等②将来の噴火想定③噴火被害の想定について、また活用部会では①防災機関における情報流通、活用を踏まえたハザードマップのあり方②一般住民、民間企業等に対する情報提供、活用を踏まえたハザードマップのあり方③ハザードマップとして配慮すべき事項④ハザードマップにおけるGISの活用について検討を行います。

第1回目は、各部会の今後の進め方、噴火等ケースの考え方、今後の検討の諸条件等について審議されました。

(県土木部はオブザーバー参加)



## 砂防指定地等監視員講習会の開催

9月7日、県庁で、県河川砂防管理室・砂防室の共催で平成13年度砂防指定地等監視員講習会を開催し、21名の監視員が参加しました。県担当者から砂防関係既存3法、土砂災害防止法の概要(特に指定地内禁止・制限行為)、県砂防指定地等監視業務実施要領及び日頃の監視上の留意点(土砂災害の前兆現象等)について説明し、土砂災害の未然防止の大切さを理解していただきました。



## (社)全国治水砂防協会代表参与会の開催

9月5日、砂防会館で、(社)全国治水砂防協会代表参与会が開催され、本県からも東海地区代表参与である武田砂防統括監が出席しました。当日は、大久保理事長から地区支部長会議の議題(「砂防に何を期待しているのか」：東海地区は11月21～22日、於岐阜市)の他、今後の協会の運営等についての報告がありました。

## 砂防研究報告会で 協働の事例報告

9月27・28日、砂防会館において、砂防研究報告会が行なわれました。27日の全体会議において静岡県からは清水市大内地区のグリーンベルト整備事業について、山麓はミカンの放棄園が竹やぶ化しているという問題等の現状と、地元住民と行政とが協働して、計画策定から樹林帯整備、維持管理に取り組んでいるという事例を紹介しました。



## 平成13年度社日本地すべり学会 第40回研究発表会開催される

平成13年8月28日から31日にかけて群馬県前橋市において「平成13年度(社)日本地すべり学会第40回研究発表会及び見学会」が開催されました。

火山、気象についての「普及講演会」や「特別講演会」の外「研究発表会」、「ポスターセッション」「現地見学会」が行われ、会場や現地で活発な討議が交わされました。

渡辺気象予報士による普及講演会で「日本の亜熱帯化による集中豪雨の増加や土砂災害発生への十分な注意の必要性」について講演がありました。

# 七がまちの砂防

松崎町

松崎町 産業建設長 稲葉公治

松崎町は、伊豆半島の西海岸に位置し、三方を天城の山稜に囲まれ、西に駿河湾を臨み、海岸線は波静かな白砂の入江や、断崖等屈曲に富んだ景観を呈し、富士箱根伊豆国立公園や文化財名勝地に指定されています。

二級河川那賀川、岩科川が東西に貫流し、地形は非常に起伏に富み、平地が少なく、総面積の83%が森林で占められています。

このような地形条件から、昭和49年の伊豆半島沖地震や昭和51年7月の集中豪雨などの大きな災害に被りましたが、緊急砂防事業などで対応していただきました。

町内には土石流危険渓流40箇所、急傾斜地崩壊危険箇所69箇所、地すべり危険箇所1箇所と、多くの危険箇所があり、逐時砂防関係工事が進め



東洋のコートダジュールと呼ばれる岩地海岸



岩地西の田急傾斜（特定利用斜面事業）

られています。平成11年度からは、岩地地区において、県下でも急傾斜地崩壊対策事業として前例の少ない、山頂部を（国）136号の高さまで掘削し、構造物（擁壁）の規模を軽減すると同時に、平地となった上部の土地の有効利用を図ることができる特定利用斜面保全事業を実施しています。13年7月には約2,500㎡の平地が完成し、夏の海水浴客の臨時駐車場として多く利用されました。

住民が安心して暮らせる環境を整備するには、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業等の防災対策は欠くことが出来ません。今後も景観や環境に配慮した事業の推進に努めてまいりますので、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 御殿場市

御殿場市 建設水道部管理維持課長 勝又章芳

緑きらきら、人いきいき、御殿場は、県の東北部にあって、富士山麓の美しい自然に恵まれ、緑豊かな高原の都市であります。広域的に見ると富士山、富士五湖、愛鷹山、箱根伊豆といったいわゆる富士箱根伊豆国立公園で我が国屈指の観光ゾーンのほぼ中央部に位置しております。

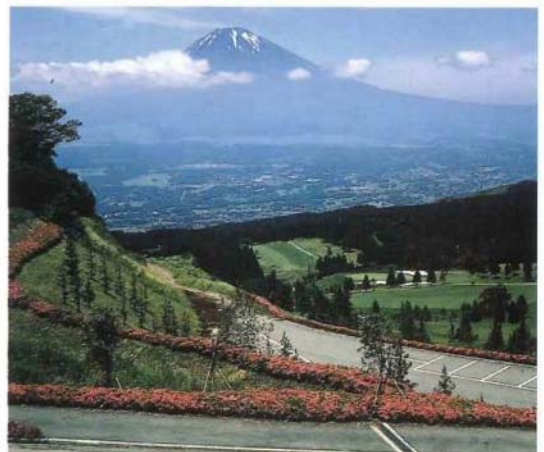
当市は、大きな川は少ないですが今までの災害は普通河川砂沢川に幾度も起こり、下流の人家は過去に幾多の災害を受けてきました。このため、県により昭和57年度より逐次砂防事業を進めていただいております。



砂沢川砂防事業（演習場地区障害防止事業）

また、急傾斜地崩壊危険箇所2箇所、土石流危険渓流15箇所と、土砂災害危険箇所も多く、砂防事業は本市にとって重要であります。今後も、

市民の生命財産を災害から保護するとともに、景観や環境に配慮した事業の推進に、関係各位のなご一層の、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本一の富士の麓（御殿場市の全景）



## 藤 枝 市

藤枝市 道路河川課長 大石 茂

藤枝市は、平成3年から「日本一の藤の里づくり」事業をスターとさせ、シンボルマークの作成や「藤サミット」の開催、蓮華寺池公園をはじめとした、「藤」をモチーフにした景観づくりなど「藤」をテーマにしたまちづくりが進められています。

また、大正15年に旧制志太中学（現藤枝東高）に校技として取り入れられたサッカーは、市民のシンボルスポートとしてすっかり定着しています。毎年8月には全国初の試みである「全国PK選手権大会 IN FUJIEDA」が開催されており、「元祖サッカーのまち」をアピールしています。今年も全国から392チームが参加して盛り上がりを見せました。藤枝市の地形は、瀬戸川を中心に南北に細長く、主に北部山間地に

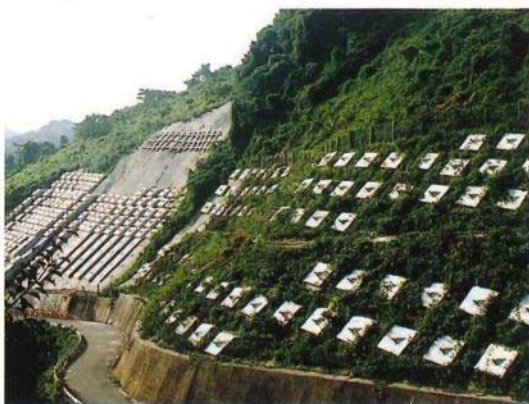


全国PK選手権大会 IN FUJIEDA

土砂災害危険箇所が多数点在しています。特に地すべり

危険箇所は26箇所です。平成11年度には、上大沢地区で集中豪雨により地すべりが発生したため、災害関連緊急地すべり対策（渓流関連）事業を実施し、平成12年度に完了しました。当地区は、昭和49年の七夕豪雨の際にも地すべりが発生し、孤立した経緯があるため、今回の事業は、地元住民が安心して生活する上で重要な役割を担っています。

今後とも、関係機関の皆様のご支援を賜りながら、「土砂災害に強いまちづくり」を地域住民とともに進めていきたいと考えています。



上大沢地すべり対策事業

## 掛 川 市

掛川市 土木課長 田邊 兼男

我が街掛川市は静岡県の西部、中部地域との接点にあたり、県中東遠圏域の中核的な都市に位置づけられ、市域面積185.79km<sup>2</sup>獅子、人口80,200人です。

本市の地形は森林地帯が50%、標高50m未満の低地部が25%と起伏に富んだ波及山林を形成しており、豊かな里山、溜池谷田文化、段々茶畑が現存しています。また、本市は昔より東海交通の要衝であり、主要な鉄道及び、道路の大動脈が通過し産業、経済の利便性をもたらすとともに自然及び生活に負荷を与えた事実があります。こうした歴史の背景の中、昭和54年に全国に先駆けて「生涯学習都市宣言」を行い、その具体的18項目を掲げ行動を実施している最中であり、昭和63年には新幹線新駅の設置、平成6年には当市のシンボルとし本格的木造建築、掛川城天守閣を官民一体で復元し活性化を図りました。

次に我が街の砂防についてですが、地層は第三紀鮮新世層群からなり軟弱地盤が各所に点在し、土石流危険渓流23箇所、急傾斜地崩壊危険箇所30箇所、地すべり危険箇所11箇所と多くの土砂災害危険箇所を抱えており、降雨時には大小規模の土砂崩れが発生しております。平成10年度に掛川市倉真・戸沢地内で発生した地すべり災害に対し、災害関連緊急地すべり対策事業の採択を受け対策工が完了し、過日の台風11号、15号に対しても安定した地形を保持しています。これも一重に県ご当局のおかげと感謝いたす次第であります。



戸沢地すべり対策事業



日本一の大きさを誇る仁藤の大獅子と掛川城

当市としても、恵まれた自然を保護しながら土砂災害等から住民の生命財産を守る砂防事業には重点を置く所存であり、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 第5回 「緑のゼミナール」の開催

砂防事業の計画・設計・施工・管理の各段階で緑を積極的に導入していくために企画したゼミナール。今回は静岡市・清水市都市山麓グリーンベルトで協働しているS-GIT（清水みどり情報局）がパネラーとして参加します。

- 日 時／平成13年10月31日(水) 11:00～17:00
- 会 場／砂防会館別館シェーンバッハ・サボー
- 主 催／(社)全国治水砂防協会

## 案内コーナー

## 2001 火山砂防フォーラムの開催

火山国日本におけるさまざまな取組の現状について基調講演やフォーラムが開催されます。また、大規模な火山噴火災害のあった三宅島を船上より視察します。

- 日 時／平成13年11月11日(日)～13日(火)
- 会 場／東京都庁内大会議室  
大島町役場内ホール他
- 主 催／火山砂防フォーラム委員会

## 火山シンポジウム開催

「平成13年度自主防災活動推進大会」において火山防災に関するシンポジウムが開催されます。

- 日 時／平成13年11月23日(金) 勤労感謝の日
- 会 場／御殿場市民会館大ホール
- 主 催／静岡県
- 共 催／御殿場市・自主防災活動推進大会実行委員会

# 参加者募集 安倍川SABOウオーク

静岡河川工事事務所では、11月4日(日)に安倍川上流で行っている砂防事業について県民の皆さんに理解と関心を深めていただくために、「安倍川SABOウオーク」を実施します。(定員は30名、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。)

- 集合場所／県庁前(9時～17時予定、雨天中止)
- 参加費／大人100円、子供50円(保険代に充当)
- 見学場所／大谷崩、砂防施設など
- 申込・問い合わせ先

国土交通省静岡河川工事事務所 内  
安倍川SABOウオーク実行委員会  
〒420-0068 静岡市田町3-108  
TEL 054 (273) 9104

- 申込方法／往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記して10月31日までに上記まで

平成13年 10-12月

砂防関係の

## 主な行事

- 10月18日(木) 暮らしと土木展  
(静岡市青葉イベント広場)
- 10月24日(水) 市町村長等砂防事業視察  
～10月27日(土) (台湾地震土砂災害他)
- 10月31日(水) 市町村・県砂防担当職員研修  
～11月1日(木) (愛知県名古屋他)
- 11月21日(水) 東海地区全国治水砂防協会支部長・  
～11月22日(木) 砂防課長合同会議(岐阜県岐阜市)
- 11月27日(火) 全国治水砂防促進大会  
(東京・砂防会館)  
  
静岡県支部砂防関係事業促進の要望  
(本県選出国会議員等)

## 編・集・後・記

静岡県支部では、静岡県が明治35年の静岡市内の安倍川仙俣川で「砂防法」に基づく砂防工事に着手以来、平成14年度で100周年を迎えるに当たり、記念事業として先人たちの労苦を偲び、砂防事業の歩みを記録して冊子としてまとめることを予定しております。この記念誌等の資料として昭和40年以前の砂防に関する記録、写真、新聞記事、砂防だよりNo.1～10等お持ちでしたら、是非御一報ください。

この「砂防だより」が少しでも皆様との情報交換に役立つような誌面づくりにしていきたいと考えております。今後ともご愛読いただけますようお願いいたします。

### 表紙写真：安倍峠

撮影：松浦丈雄(島田市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しております！  
皆さんの御協力お願い申し上げます。  
詳しくは下記宛にお問い合わせ下さい。

砂防だより

第135号 発行日：平成13年10月15日

編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市追手町9番6号

静岡県土木部河川砂防総室砂防室内

TEL (054)221-3042 FAX (054)221-3564

E-mail : sabo@hq.pref.shizuoka.jp

R80

古紙配合率80%再生紙を使用しています